診療参加型臨床実習に関するご説明とお願い

国際医療福祉大学熱海病院は、国内外の患者様に高度で先進的な医療を提供することはもとより、次代を担う医療人の育成も使命の一つと考えており、その実現に寄与すべく、医学部の学生(医学生)の診療参加型臨床実習に積極的に協力しております。この実習は、医学部生を指導医の指導又は監視下で患者様の診療に参加させるもので、概略は以下の通りです。医学生の診療参加の趣旨をご理解いただき、この臨床実習にご同意頂けますようお願い申し上げます。

1. 診療参加型臨床実習と必要性について：診療参加型臨床実習とは、医学生(医学部 4～6 年生)が患者様の診療にあたるチームの一員として、患者様のお話を伺い、基本的な身体診察を行った後に、原因となる病気を考え、更にはそれを確認するための検査を選び、最終的に方針を決めるという、医療の実際を学んでいくものです。この実習を通して、医師としての態度や技能を学んでいきます。また、この実習で得られたことが、医師免許取得後の臨床研修へと受け継がれ、質の高い医療が提供されることに繋がります。以上のことから、診療参加型臨床実習は「良き臨床医」を養成するために必要不可欠となっていますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。
2. 臨床実習を行う医学生について：医学生は診療参加型臨床実習を行う前に知識・実技試験を含む全国統一の共用試験及び学内独自の試験を用いて臨床実習医学生(スチューデント・ドクター)としての能力と資格が総合的に判定されます。これらの試験に合格した後、全国医学部長病院長会議が認定カードを発行することで有資格者と証明されます。この認定カードを付与された医学生のみが、診療参加型臨床実習を行うことができます。
3. 臨床実習中の医療行為について：臨床実習医学生が実施する医行為は、厚生労働省医政局の平成 30 年 7 月 30 日付通知「医学部臨床実習において実施可能な医行為について」で例示(裏面記載)されたものに限定し、実施内容に応じ、指導医の指導又は監督下で、臨床実習医学生を診療活動に参加させる、ないし見学・介助させるものです。(一部の侵襲的な医行為についても指導医の立会いのもとおこなうことができるとされています。なお、例示にない医行為であっても、侵襲度や難易度が例示のものと同程度の場合は、事前にご説明いたします。また、医行為の程度は高いものの指導医が教育上必要と判断した場合は、別途、当該医学生の医行為に関する「個別同意」を頂きます。)
4. 医療事故などへの補償について：臨床実習医学生がおこなう医行為は危険の少ないものに限定しておりますが、患者様の健康やプライバシーを損なう事象が発生した場合、当院および国際医療福祉大学が適切に対応いたします。
5. 担当以外の医学生の見学及び担当の臨床実習医学生の変更.回診や上記の医行為が行われる場合、担当以外の臨床実習医学生が一緒に見学をさせていただくことがあります。また実習期間中に担当の臨床実習医学生が他の臨床実習医学生に交代することがあります。
6. 患者様の拒否または同意の撤回について：患者様は、臨床実習への協力を拒否することができ、また、一旦実習への協力を同意されました後でも、いつでも同意を撤回することができます。いずれの場合でも、患者様が診療上の不利益を被ることはございませんので、ご安心ください。

その他、ご不明な点は遠慮なさらずお申し出ください。担当者から適宜ご説明いたします。

令和 6 年 4 月 1 日

国際医療福祉大学熱海病院病院長　山田　佳彦
国際医療福祉大学医学部長　坂元　亨宇

「医学部の臨床実習において実施可能な医行為について」

当院ではこれらすべてを医学生が実施するわけではなく、必須項目を中心とし、医学生の習熟度・経験を評価しながら指導医の指導又は監督下で実施します。実施する可能性がある項目に関しては、該当するものをマークし、具体的に担当から説明を行います。

分類	必須項目 （医師養成の観点から臨床実習中に実施が開始されるべき医行為）	推奨項目 （医師養成の観点から臨床実習中に実施が開始されることが望ましい医行為）
診察	診療記録記載(診療録作成)、 医療面談、バイタルサインチェック、 診察法(全身・各臓器)、耳鏡・鼻鏡、 眼底鏡、基本的な婦人科診察、乳房診察、 直腸診察、前立腺触診、 高齢者の診察(ADL 評価、高齢者総合機能評価)	患者・家族様への病状説明、 分娩介助、直腸鏡・肛門鏡
一般手技	皮膚消毒、外用薬の貼付・塗布、 気道内吸引、ネプライザー、静脈採血、 抹消静脈確保、胃管挿入、 尿道カテーテル挿入・抜去、 注射(皮下・皮内・筋肉・静脈内)、予防接種	ギブス巻き、 小児からの採血、 カニューレ交換、 浣腸
外科手技	清潔操作、手指消毒(手術前の手洗い)、 ガウンテクニック、皮膚縫合、 消毒・ガーゼ交換、抜歯、止血処理、手術助手	膿瘍切開、排膿、 嚢胞・膿瘍穿刺(体表)、 創傷処置、熱傷処置
検査手技	尿検査、血液塗抹標本の作成と観察、 微生物学的検査(Gram 染色含む)、 妊娠反応検査、超音波検査(心血管)、 超音波検査(腹部)、心電図検査、 経皮的酸素飽和度モニタリング、 病原体抗原の迅速検査、簡易血糖測定	血液型判定、 交差適合試験、 アレルギー検査(塗布)、 発達テスト、知能テスト、心理テスト
救急	一時救命処置、気道確保、 胸骨圧迫バックバルブマスクによる換気、AED	電気ショック、気管挿管、 固定など整形外科的保存療法
治療	処方薬(内服薬、注射、点滴など)のオーダー、 食事指示、安静度指示、 定型的な術前・術後管理の指示、 酸素投与量の調整診療計画の作成	健康教育

同意書

国際医療福祉大学熱海病院

病院長　山田　佳彦　殿

私は、医師(　　)から、診療参加型臨床実習の必要性・目的・実習中の医療行為・実習に伴う医療事故等について、説明書に基づき十分な説明を受け、質問する機会を得ました。この説明により診療参加型臨床実習および関連する事項について理解できましたので、診療参加型臨床実習の実施に同意します。

令和　　年　　月　　日

患者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿